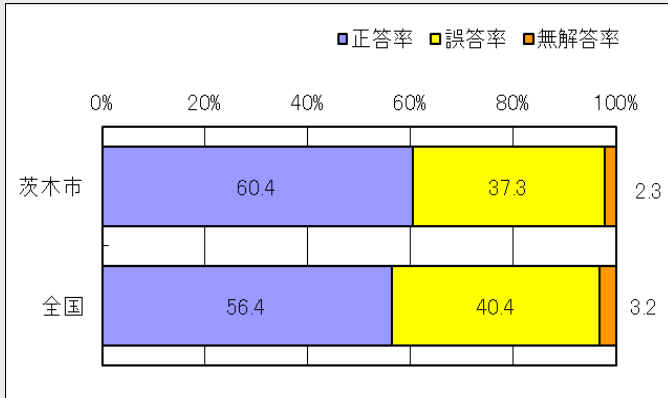


正答率比較

平均正答率は、全国を4.0ポイント上回った

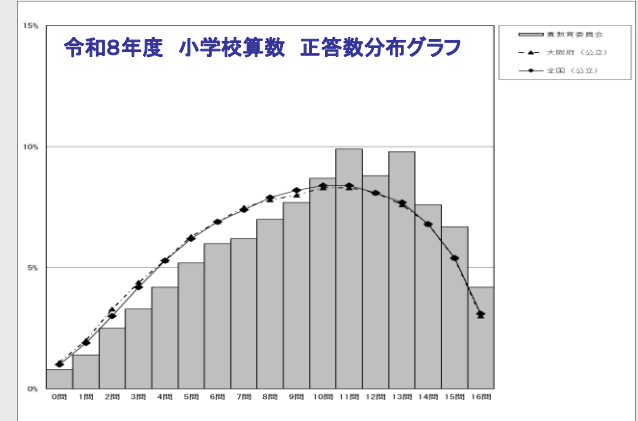
令和8年度 小学校算数 正答率等比較



- ◆ 全国の平均正答率が 56.4%であるのに対し、茨木市では 60.4%で、全国を 4.0 ポイント上回った。
- ◆ 誤答率については、全国より 3.1 ポイント低い。
- ◆ 無解答率については、全国より 0.9 ポイント低い。

正答数分布

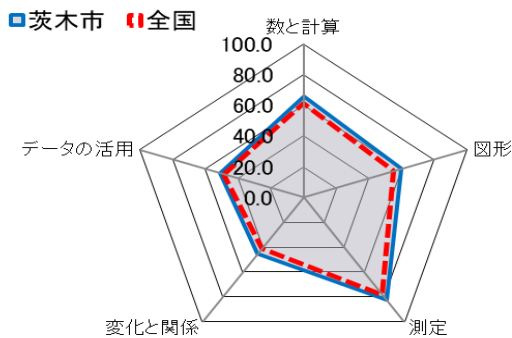
学力の分布は、正答数の多い側にかたよりのある山型である



- ◆ 全国、茨木市ともに 11 問正解の児童の割合が最も多い。
- ◆ 正答率 40%以下(0～6問正解)の児童の割合は 23.4%である。(内 20%以下(0～3問正解)の児童の割合は 8.0%)
- ◆ 正答率 80%以上(13～16問正解)の児童の割合は 28.3%である。

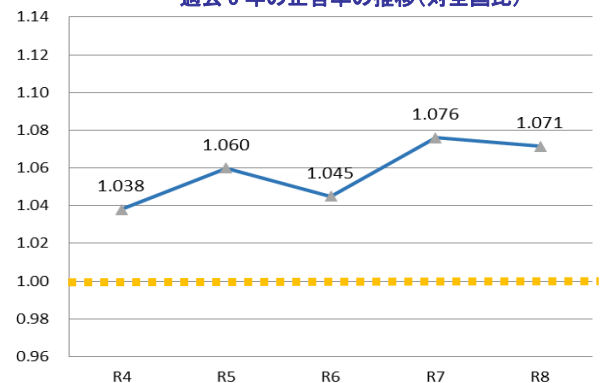
領域別

令和8年度 小学校算数 レーダーチャート



正答率経年比較

過去 5 年の正答率の推移(対全国比)



課題があった設問

○7/3 と 7/4 のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く (正答率 49.0%)

【3】たいがさんとひまりさんは、1 から 9 までの数字が書かれた 9 枚のカードを使って遊びます。

(3) たいがさんたちは、【ルール3】で遊ぶことにしました。

【ルール3】

①引いたカード 3 枚のうち、2 枚を に当てはめて分数をつくります。

②大きい数をつくった方が、勝ちです。

たいがさんは、 を引きました。



どちらの方が大きいかな。

$\frac{7}{3}$ $\frac{7}{4}$

$\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ では、どちらの方が大きいですか。下の ア から ウ までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、数や言葉を使って書きましょう。

ア $\frac{7}{3}$ の方が大きい。

イ $\frac{7}{4}$ の方が大きい。

ウ $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の大きさは等しい。

(正答例)

・ A

【記号】 ア

【わけ】 $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ を通分すると、 $\frac{7}{3}$ は $\frac{28}{12}$ 、 $\frac{7}{4}$ は $\frac{21}{12}$ なので、
 $\frac{7}{3}$ の方が大きいです。

(解答類型 1)

・ B

【記号】 ア

【わけ】 $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ を小数で表すと、 $\frac{7}{3}$ は2.33…、 $\frac{7}{4}$ は1.75なの
で、 $\frac{7}{3}$ の方が大きいです。

(解答類型 3)

(正答の条件)

記号を ア と選び、次の A、B、C、D について、いずれかの方法で①、
②の全てを書いている。

A 【通分を用いた大小比較】

A① $\frac{7}{3}$ と $\frac{28}{12}$ が等しいことを表す数や言葉

A② $\frac{7}{4}$ と $\frac{21}{12}$ が等しいことを表す数や言葉

B 【分数を小数で表した大小比較】

B① $\frac{7}{3}$ と 2.33… が等しいことを表す数や言葉

B② $\frac{7}{4}$ と 1.75 が等しいことを表す数や言葉

C 【仮分数を帯分数で表した大小比較】

C① $\frac{7}{3}$ と $2\frac{1}{3}$ が等しいことを表す数や言葉

C② $\frac{7}{4}$ と $1\frac{3}{4}$ が等しいことを表す数や言葉

D 【分子が等しいことに着目した大小比較】

D① $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分子が等しいことに着目していることを表す数や言葉

D② $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分母に着目して、分母が小さい方が数が大きいこと
を表す数や言葉

解答類型	反応率 (%)	正答
アを選び、A①、A②の全てを書いているもの	25.5	◎
アを選び、B①、B②の全てを書いているもの	6.7	◎
アを選び、C①、C②の全てを書いているもの	11.0	◎
アを選び、D①、D②の全てを書いているもの	5.7	◎
アを選び、①②が適切に記述されていないもの	13.6	
アを選び、理由は無解答	12.3	
イを選び、分子が等しいとき、分母が大きい方が数が大きくなることについて書いているもの	6.0	
イを選び、理由は無解答	12.0	
上記以外の解答	5.4	
無解答	1.8	

【この問題で求められている力】

異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できる力

☆分数の本質的な意味を理解できているかを問う問題である。分数の大小を判断するための説明することに課題のある児童が一定数いるものと思われる。

【算数についての今後の指導のポイントとして】

分数の意味や表し方に基づいて、異分母の分数の大小を判断できるようにすることが重要である。指導に当たっては、通分することに気付かせたり、数直線で見える化したり、 $7\div3$ は7の3等分、 $7\div4$ は7の4等分である、など、幾つかの方法で分数の大小を比べることで分数の表し方についての理解を深めることができるようにすることが大切である。